長洲町教育委員会 会議録

会議録	令和2年度 第7回 長洲町教育委員会会議		
招集年月日	令和2年7月31日（金）午後3時30分 招集		
招集場所	長洲町役場 3階 中会議室		
出席者	委員会	教育長 戸越政幸、坂本裕文教育長職務代理者、 上野美登委員、隈部壽明委員、徳田美津子委員	
	事務局	学校教育課	課長 松林智之 指導主事 松井 明
		生涯学習課	課長 漁長洋志 課長補佐 塩本 武 社会教育文化係長 中山太喜 生涯学習審議員 松永光親
欠席者	なし		
職務説明責任者	松林学校教育課長		
会議録作成者	金森学校教育課長補佐を指名		

日程番号	事件番号	事 件 内 容
第 1		議事日程について
第 2		会議録署名委員の指名について
第 3	議案第23号	長洲町地域学校協働活動運営委員会委員の委嘱について (学校教育課)
第 4	議案第24号	長洲町合併65周年記念誌編集委員会設置要綱の制定について (生涯学習課)
第 5	議案第25号	長洲町合併65周年記念誌編集委員会委員及び顧問の委嘱について (生涯学習課)
第 6	議案第26号	長洲町立学校 GIGA スクール用 ICT 機器整備業務に関するプロポーザル審査委員会設置要綱の制定について (学校教育課)
第 7	協議第 5号	令和2年度 学校の夏季休業期間内における学校閉校日について (学校教育課)

第 8	報告第 5号	長洲町総合スポーツセンターの指定管理者制度導入（第Ⅱ期）の検証について (生涯学習課)
第 9	報告第 6号	7月校長会について (学校教育課)
第10	報告第 7号	生徒指導について【非公開】 (学校教育課)

開会（午後3時30分）

○学校教育課長（松林智之）

こんにちは。時間となりましたので、ただいまから令和2年度第7回教育委員会会議を開催いたします。

それでは、地方教育行政法第13条第1項の規定に基づき、教育長に会議の議事進行をお願いいたします。

○教育長（戸越政幸）

改めまして、こんにちは。ご承知のとおり、町内では新型コロナウイルスが発生しております。現在の状況につきましては、この会議の終了後に説明を予定しております。

それでは、本日は、出席委員が定数に達しておりますので、この会議が成立することを報告します。それでは、令和2年度第7回教育委員会会議を開会します。

お諮りします。会議の議題は本日配布しておりますとおりでよろしいでしょうか。

（異議なしの声あり）

それでは、日程番号第1、議事日程について、本日1日間とします。よろしいでしょうか。

（異議なしの声あり）

日程番号第2、会議録署名委員の指名について、隈部委員を指名します。

また、日程第10報告第7号の生徒指導については個人情報が含まれますので、非公開として取り扱います。

（異議なしの声あり）

日程番号第3、議案第23号について、事務局から説明をお願いします。

○学校教育課長（松林智之）

申し訳ございません、訂正箇所がございます。

表紙の裏面に日程を入れておりますが、この議案第23号につきましては、所管が学校教育課となります。

（議案第23号 学校教育課長 説明）

○教育長（戸越政幸）

説明ありがとうございました。今、課長の方から委員候補者名簿と設置要綱について説明がありましたけども、ご質問、ご意見ございませんでしょうか。

○教育委員（隈部壽明）

この第2条に、所掌事項が書かれているんですけど、今までこの会議に、主にPTAの代表の方はこれが何の会議かよくわかりませんでしたので、何か言ってくださいと言われても何言えがいいかよくわかりませんみたいなことをよく言われるんですが、この2条に書いてある各項目をどういうふうに進めるのかということ意識して来られている節はほぼないような気がするので、やっぱり委員会を立ち上げる以上は何らかの方向性とか活動の計画を作り上げて進めるということをきちんとしないと。悪く言えば、烏合の衆になってい

ないか。そういうふうになっていないかということを一回考えてみるべきではないか。そういうふうと思うんですけどね。

○学校教育課長（松林智之）

隈部委員がおっしゃったように、この地域学校協働活動という事業自体が国、県の補助金を活用した事業で、名称もそうだが、実施する内容というのも年々、変化して変わってきております。そういう中で、今回、実質この中で実施する事業というのが、所管として生涯学習課と学校教育課が持っている事業が合わさった非常に複雑なものとなっていて、その辺り各委員さんにも説明を十分して、ご理解をさせていただいて、こういった会議の場で色んなご意見・ご提案をいただくということが筋ではないかと思っております。今まで、そういった説明が不足している部分とかがあったと、私も思っております。PTAの各学校での役員会というのがありますので、そういったところに出向きながら、色んな意見をいただきながらということをするべきかなと思っております。ただ、これが年に2回程しかございませんので、例えば、放課後教室の状況を見てもらう、学校支援で学校で色んな地域の方が来ていらっしゃる日程をお知らせするとか。実際に現場でやっていることを委員さんにお知らせして、見て、感じて、ご意見をいただくとありがたいと思います。

これから、1回目を開いてその周知、現場への働きかけをしていきたいと思っております。

○教育委員（隈部壽明）

ほぼわからなかったんですけれど。やっぱり始めるにあたって、今年はコロナ対策なんだとということで、コロナ対策をみんなできちっとそれぞれの組織ごとで考えましょうというテーマを出すとか、あるいは町の人材という非常に重要な活動なので人材がきちんと把握できるような、あるいは人材としてふさわしいものを発掘するような取り組みを今年はやりましょうというようなテーマをあらかじめ決めておいて、「これをしたけれどもどうですか。」と諮って、「いいじゃないですか、そうしましょう。」といったようなことで、「今年はコロナで行きましょう。」と、「コロナ対策がきちとなるような取り組みをみんなで行きましょう。」というようなことを決めなきゃいけない。何かないですかと聞かれても何かあるわけがないので、決めてあげて、これで行きましょうという提案をして、みんなですべて「よし。それでやるぞ。」という方向で持って行ってもらいたいということです。だから、この位置づけを説明するとかではなくて、テーマを決めて、諮って全体で決める。そういうやり方を取って欲しい。以上です。

○学校教育課長（松林智之）

この設置要綱第2条に所掌する事務として、どういうことを委員さん方が携わるのかというところで記載してあります。この活動自体の運営方法の検討、事業計画策定、安全管理方策、広報活動、色んな地域人材の確保、活動プログラムの企画から事業の検証・評価と掲げております。この中で、この運営委員会の中で関連する事業について、この中でテーマを付けてということであれば、可能なのかなど。それが、先ほどコロナとおっしゃいましたけれども、この事業の中で今回は人材発掘についてをテーマにして、あるいは地域の方への広報

周知活動をどのようにするかとか、そういったテーマを掲げて協議することは可能かなとは思いますが、できるかどうかを検討させていただき、できる方向で進めていきたいと思えます。

○教育委員（隈部壽明）

それは、委員長が考えればいいわけであって、それで進めようということであれば、できるかできないかを検討したって、誰もできるでしょうとかいう人はいないので。委員長権限で、こういうテーマを設定して、したいという意思表示をすればいいんじゃないかと。

○学校教育課長（松林智之）

第6条に、運営委員会の議事は、「出席委員の過半数で決し…」というようなところもありますので、この委員さんの…。

○教育委員（隈部壽明）

それはそうなんだけど、一応、提示してあげないと決めようがないので。

○教育委員（上野美登）

地域学校協働活動推進員さんは、これには入ってないんですか。

○学校教育課長（松林智之）

ちょっと複雑ですが、放課後事業と学校支援の事業を総括するという役割ですかね。ですので、この委員さんとは別に現場中心の役割ということになります。

○教育委員（徳田美津子）

今のことと関連して、ここの地域学校協働活動運営委員会で、大方、目標とか決めると思うんですけど、実際その活動を実施部隊というか、各校区の協働本部に降ろして、そこでまた話し合ってるんだと思うんですけど、まるっきり決めちゃうと、地域のことあることでしょうし、方向性は何か決めていいと思います。テーマとして挙げてもらって、社会状況も踏まえてもらって、本部で話しあってもらいたいと思います。決めてしまうと何か幅が狭くなると思います。

○教育委員（隈部壽明）

決めてしまうということを行っているのではない。何か例を挙げてもらわないと。何かないですかでは、シーンとするので。こういう案があります、どれかに決めたいと。

○教育長（戸越政幸）

いいですか。

私、委員長で頭の中を整理したいと思います。協働本部の活動というのがありますよね。それが色々な事業を考えて、そして活動していく。この委員会はそういう活動はどうなっているのかということとここで例えば事業計画の策定はちょっとこういうところで足りないとか、広報活動にもっと力を入れたらどうでしょうかとか、そういうようなものをこの委員会は見て、上手くいくようにしていく機関がこれじゃないんですか。

○教育委員（隈部壽明）

じゃないですよ。この2条の書き方は、そうではないですね。策定をする、方策を考え

る、企画をする、検証をする、評価する。

○学校教育課長（松林智之）

この運営委員会は、一番トップの組織となります。その下部組織には協働本部があって、事業に携わる方がおられて、来年どういう方向で行くのかというのは現場の方でも検討して精査をして事業を計画して、最終的にはこの委員会でこれでやっていきます、来年度はこうします、予算はこれだけ必要ですというようなところで、最終的な決定機関というところの位置づけもこれはあります。それとは、逆にこちらからの懸案に対して、もう少しこの辺をこうした方がいいというようなご意見をいただくという場でもあります。

素案を作るのは事務局であったり、そういった現場に携わる方の意見を集約して、最終的にはこの運営委員会の方で承認といいますか、了解をいただくというような流れとなっています。

○教育委員（隈部壽明）

その位置づけをはっきりしてあげないと、私たちは何をやるんですかというのがはっきりしないままいっているんで、私もわからないと、いまだに。それははっきりしてあげないとメンバー達がずっと疑問符を持ちながら来ないといけないので。決める部分ではないんだったら、ここの2条の文言を明らかに書き換えてあげないと。承認する委員会であると、策定したりするのは実働部隊が行うという位置づけにしとかなないとおかしくなる。厳密にいうと。

○学校教育課長（松林智之）

少し言葉が不足しておりました。この運営委員会というところが、最終的に上部の組織ということで、了解をする、承認をするというところで、その中には、ここに書かれている第2条の中に対して、最終的な責任がある、承認していただくこととなります。確かに、昨年も勉強会を開きましたけども、組織図が非常に複雑となっております。こういったところから各委員さんにも十分説明してご理解していただかないと、何をしたいのかわからないというところもあります。

○教育委員（隈部壽明）

だから、それを1回その場で説明をして、こういう位置づけをして、認識を共有した方がまずはいいんじゃないかと。

○教育長（戸越政幸）

往々にして、これに近い組織というのが年1回から2回しか開かれないのが他にもありますよね。だから、第1回目のときに、この委員会はどのような内容なんですよというようなことをもう少し細かくですね、こういう要綱に沿ったことの伝達なりではなくて、もう少し詳しく説明を付け加えて、そして第2回が2月か3月じゃないかなと。その期間に私たちの業務はここに挙げられているものがあります。その中で今年度は、こういう部分を特に視点を置いて、活動を見ていただいて、そして第2回目の会議のときにそれを総括して次年度に生かしましょうという運びをしていくといいのかな。

○学校教育課長（松林智之）

段階的に、一辺にこういったところを委員さんに言ってもなかなか理解できないと思いますので。

○教育長（戸越政幸）

私も、年に2回にしか開かれないような会議は、関係機関にたくさんあります。そういう折角設けられている委員会をもっと機能的に、あるいは中身の濃い委員会にならないかというようことは、隈部委員のご質問の中に思ってもらえるところが私も感じましたので、数少ない委員会については、その会の持っていきかたについては、検討を加えていきながら、やっていかないといけないと思います。この会の予定はいつなんですか。

（8月中ということしか決まってない。）

ここで出た意見を担当にもおろして行って、その辺のところを念頭に置きながら第1回の開催に向けて、方向でよろしいでしょうか。よろしければ、今、課長の方から提案がありました委員会の運営委員さん達も、設置要綱について、ご意見ございませんか。

○教育委員（隈部壽明）

設置要綱第2条については、今回はいいとして、時間を作って見直しを、本来の位置づけの書き方を。

○学校教育課長（松林智之）

今回、議案提案しておりますのは、運営委員会の委員の委嘱です。設置要綱は議題ではございませんので、設置要綱については教育委員会で承認を得ておりますので、また違う場でご意見をいただきたいと思います。

○教育長（戸越政幸）

他にございませんか。

議決でよろしいでしょうか。

（異議なしの声あり）

それでは、この件は、これで終わります。

日程番号第4、議案第24号について、事務局から説明をお願いします。

（議案第24号 生涯学習課長 説明）

○教育長（戸越政幸）

ありがとうございました。何かご質問、ご意見がございませんでしょうか。

○教育委員（隈部壽明）

誰かがこれをやらないといけないんでしょうけども、何で教育委員会としてやるのかな。

○生涯学習課長（漁長洋志）

昨年度、予算要求の段階におきまして、生涯学習課の方から町史編さんに関する施策の業務の委員の予算が要求してありまして、その分について事務局が、町史編さんの分も長洲町では教育委員会生涯学習課が所管するということで予算化されているところでございます。

○教育委員（隈部壽明）

別に予算化するのはどこだっていいかわからないけど。予算は予算であって、実行部隊はそこかというのは、必ずしも一致する必要はない。教育委員会でしなければいけないという理由がはっきりしているのであれば、予算は関係なくて、こうだから教育委員会でやるんですと言ってもらえればいいです。町史は色んな文化財がひっくるめてあるんで、関わり合いはあるかなとは思っただけでも、教育委員会が進めるようなものではないんじゃないかなと。

○生涯学習課長（漁長洋志）

昨年度、予算要求にあたりまして、教育委員会内での協議がなされたかということをおの私が存じておりませんで、生涯学習課の所掌事務というところで。確かに、調べていきますと全体的な町史、市史他の市町におきましては、市長部局だったり、町長部局の企画のところとされているところもございますし、一概に教育委員会で全くやってないかということでもなく、教育委員会でも策定されている市町村等もございます。その辺につきましては、その市町村の事務の所管をどちらにするかというところで、なぜ教育委員会、なぜ企画かというところは、その時に何らかの協議がなされているものと。

○学校教育課長（松林智之）

私が知っている限りで、町史編さんを今まで携わってきた担当課であるということ、教育委員会で色んな歴史とこれまでの資料等について、保存・保管している部分があるということ。そういう繋がりがあってということで今回は教育委員会をお願いしたいという話があったということです。

○教育委員（隈部壽明）

何か納得がいかなのだけでも、教育の視点で書いてください、この分は書いてください。産業については、何とか産業が書いてくださいとか分散されるとわかるんだけど、何で教育委員会で全体をまとめなければいけないのかというのは、話が違ふと。私は感覚的に思います。決まったからしょうがないのかもしれませんが。

○教育委員（上野美登）

それは、第3条の5の教育委員会が必要と認めるものにまちづくり課が入るとかいいんですか。それは全然違ふ。

○生涯学習課長（漁長洋志）

こちら、作成に携わるイメージとして、確定ではないんですが、委員会を立ち上げさせていただきまして、どのレベルでやるのか、いつ頃からやるのか、そういった方向性をこちらの委員会で叩いていただきまして、今、言われましたとおり、教育委員会で例えば、産業、経済というのは中々つかめないと。この下に各課長級を集めた実働部隊のような委員会を今後イメージしております。そちらの方にあらかた記事を投げながら、挙がってきたものを校正する。とりまとめがなぜ教育委員会かということもでございますけども、最終的な実働というのは各所管課に確認等を踏まえながらやっていく形をとりたいと考えているところでございます。

○教育長（戸越政幸）

流れとして、一つは最初から記念史を作る発想からではなかったんだろ。

○生涯学習課長（漁長洋志）

はい。

○教育長（戸越政幸）

町史という形で。30年間、昔から編さんされているものを教育委員会が中心となって編さんする。しかしながら、その町史をどういう編集をするのというところから、これだけ立派なものがあるから、じゃああえてこれに付け足して、かなりの金額がかかるものを作るのではなくて30年間くらいだから、その後の記念史的なものを発行しようというふうな方向が決まっていたと思います。

元の流れが、教育委員会で町史は作っていつてますので、その流れの中で。

○生涯学習課長（漁長洋志）

確かに教育委員会がメインで作っております。

○教育長（戸越政幸）

その流れの中で、そういうご意見があつて、私たちも、別の組織で代表が集まってきて作った方がいいのか。小さな意見としてありましたけども、そういうようなものはなかなかできにくいよねというような流れで、教育委員会生涯学習課が所管となっていたような気がします。

○教育委員（隈部壽明）

あえて言うなら、色んな雑多なものを気軽に引き受けない方がいいんじゃないですかね。

それじゃなくても、色んなものがあるので、できるだけ本筋をやるものにして欲しいなということです。

○教育長（戸越政幸）

では、他にはございませんでしょうか。

なければ議決でよろしいでしょうか。

（異議なしの声あり）

それでは、この件は終わります。

日程番号第5、議案第25号について、事務局から説明をお願いします。

（議案第25号 生涯学習課長 説明）

○教育長（戸越政幸）

説明ありがとうございました。記念史編集委員の案が提案されましたけども、いかがでしょうか。ご質問、ご意見ございましたらお願いします。

なければ議決してよろしいでしょうか。

（異議なしの声あり）

それでは、この件は終わります。

次に入ります。

日程番号第6、議案第26号について、事務局から説明をお願いします。

(議案第26号 学校教育課長 説明)

○教育長(戸越政幸)

説明ありがとうございました。今の件につきましてご質問、ご意見ございませんでしょうか。

なければ議決でよろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

はい、それではこの件は終わります。

日程番号第7、協議第5号について、事務局から説明をお願いします。

(協議第5号 学校教育課長 説明)

○教育長(戸越政幸)

説明ありがとうございました。ただ今の件、ご質問、ご意見ございませんでしょうか。ないようでしたら、次にいきたいと思えます。

日程番号第8、報告第5号について、事務局から説明をお願いします。

(報告第5号 生涯学習課長 説明)

○教育長(戸越政幸)

説明ありがとうございました。そして、内容がたくさんありましたけども、何かご質問、ご意見ございませんでしょうか。

○教育委員(隈部壽明)

これの検証をしたのは誰なんですか。タイトルが検証ですよ、検証したのは誰なんですか。

○生涯学習課長(漁長洋志)

こちら、検証につきましてモニタリングを最終的に事務局の生涯学習課で指定管理者から資料をいただきまして、そちらの資料を集計して。こちらの効果ありの検証をしているのは、生涯学習課でございます。

○教育委員(隈部壽明)

では、生涯学習課では効果があるということ、一定の効果があったということと、でもここが足りませんという検証結果が出るわけですね、普通は。

○生涯学習課長(漁長洋志)

今回の指定管理者制度の導入という点での観点からの効果につきましては、町直営でするよりも、こちらにあります4項目全てにおいてプラスの見込みだと。今後、業者を選びまして、業者を選ぶ際には、私たちはこういう計画、こういう人員配置、こういう事業を組みますというような業者さんからの提案を受けて、指定管理者を選んでいくという流れになります。指定管理者から選定する際に、提案いただいた提案資料、その提案に基づいた事業が実施されているかどうかという点につきましては、確かに提案の中から少し外れている部分だったりとか、物足りなさとかいうのは感じられる部分はございます。そちらは、業者

へのモニタリングという形で、返すところをごさいますて、今回は、指定管理者制度自体そのものの導入効果としてはどうなのかというところにつけさせていただいたところで、所管課としては、あるので、町全体として検討委員会という部署がございますので、生涯学習課としては、こういった4項目ともにプラスが見込めるので、3年度からも指定管理者制度は導入したいという提案をさせていただいて、承認を得たという報告でございます。

○教育委員（隈部壽明）

ということは、指定管理者制度は、○か×かという、どっちかしかない。

○生涯学習課長（漁長洋志）

はい。今後、やっぱり指定管理者制度はだめだと、直営でやった方がいいよねというふうになるのか。指定管理でやるかというような○か×です。

○教育委員（隈部壽明）

わかりました。

○教育長（戸越 政幸）

それでは、他にございませんか。

ないようでしたら、この件は終わります。

次に入ります。

日程番号第9、報告第6号について、事務局から説明をお願いします。

（報告第6号 学校教育課長 説明）

○教育長（戸越政幸）

説明ありがとうございます。何かご質問、ご意見ございませんでしょうか。

○教育長職務代理人（坂本裕文）

中学校の学力向上対策については、画期的なですね、今年度の取組みということで、力を入れられている状況じゃないかなと思いますが、今のコロナの状況で、どういう対策を具体的にとって、90名参加なもんだから、ちょっと心配するところがあって、対策等についてどう考えられている部分があるかというところでの質問です。

○指導主事（松井 明）

まず、現在の厳しい状況ですけれども、学校の感染状況を踏まえたところで、判断いたしますと、学校の児童生徒の中に感染者が出ていないという状況を踏まえまして、実施というような一つの目安としております。ただ、保護者に検査対象者がまだ若干あるのは事実です。それが3年生の該当者であるかどうかというのはわかりませんが、現在の学校の感染状況、児童生徒の感染状況から見まして、まず実施はできるんじゃないかという一つの判断をいたしました。昨日、中学校3年生を対象に参加する生徒・保護者の皆さんへというふうなプリントを配布いたしまして、参加人数が大幅に増えまして、90名、約4分の3の生徒が希望をしております。その中で、一つは参加にあたっては生徒、保護者で十分に話し合いをして、そして生徒と保護者で参加するかどうかを決定してほしいという旨の文書と担任の先生を通じて、生徒・保護者に伝えております。残念ながら、数名の生徒については、生

徒と家庭の判断で今回のサマースクールについては、欠席をしますという生徒も複数名はおります。そこについては、家庭の判断というところで、学校もそうですけど、今、児童生徒の中にも、家庭の判断で学校に登校していない生徒が数名おりますので、それと同じ扱いをいたしまして、参加できない家庭につきましてはテキストの方は準備しておりますのでテキストの配布について、サマースクールが始まる3日の午前中からお渡ししますので、教育委員会の方に取りに来てくださいますという旨の連絡をしております。続きまして、コロナウイルスの感染症予防対策ですが、まずは家を出る前の検温、それとマスクの着用、入室前の再度の検温、手指消毒というのを徹底しております。また、フェイスシールドも全参加生徒分用意しておりますので、マスクにフェイスシールド。フェイスシールドを付けたまま授業というのは中々、生徒は慣れておりませんので基本的には授業とは違いますので、発表したりとかというような機会は少ないと思いますが、発表したりする機会にはフェイスシールドを付けて行うなどの措置を取ろうかと思っております。それと授業中の無駄話、昼休みの大きな声での話というには控えるようにということで、3日の日にガイダンスを行いますので、その中での周知徹底の方をしていこうかなと思っています。人数が多くなりまして会場が中央公民館の視聴覚室と研修室ですけども、密にならないような状況で机も斜めにしたりとか、工夫したりしながら、塾の先生方と会場の確認をいたしまして、これだったら大丈夫だろうというようなところで判断しまして、実施というところで。ただし、感染状況によっては、途中で中止もありえる。その場合は、学校の安心安全メールを使って、保護者に連絡というところまでは確認をしております。以上です。

○教育長（戸越政幸）

他、何かご質問ございませんでしょうか。

○教育委員（徳田美津子）

各学校の校長先生が書いてくださる学校だよりがありますよね。とても楽しみに見てて、よく学校の様子ができるんですけども。ここ数か月間、六栄小学校がないんですよ。これは何か、事情があるんですか。

○学校教育課長（松林智之）

その辺の事情は掴んでおりませんでした。

○教育長（戸越政幸）

一つの学校を理解するのに、あるいは学校側からするとやっていることを周知して理解していただくという意味からも…。

○教育委員（上野美登）

安心安全メールの協賛がありますよね。あの内容というのは、保育園はですね、見ましたというのをクリックすると見ましたってのができるんですよ。でも、安心安全メールは見ましたはなくて、一方通行じゃないですか。なので、見ましたの数が把握できない。全員見たかどうかわからない、連絡もない。最近、長洲のラインは凄く有効で、あれも一方通行ですけど、実際もう見られたように、ラインというのはメールを開く回数より圧倒的に多いので、

教育からもラインきますけどあれは凄く有効かなと。日頃に周知したいことをどんどん送っていけるので、凄く有効かなと思っていて、安心安全メールはピンポイントで小学校・中学校単位ですけど、ラインを活用していただければいいんじゃないかなと思います。

○学校教育課長（松林智之）

上野委員がおっしゃるように、愛情ねつとは長洲町の他に近隣の情報も登録していれば十分見れますので、この間のように警報発令とか、避難勧告とか、そういった場合も自分で身を守るための行動をするということで、一方通行ではありますけども、そういう情報を得ることができるということで、愛情ねつとラインも含めて、保護者に登録をお願いします。ただ、これは100%にはならないと思います。そういったところをどこで吸い上げるのかということを検討しています。安心安全メールも100%ではないんですよね。また、開けたときにも一部有料がかかっているという関係もございますので、働きかけはしていきたいと思います。

○教育委員（上野美登）

連絡をもらえるものという感覚ではなくて、保護者、地域の人にも自分で情報を取りに行くというスタイルを取ってもらわないと、何でも聞いてないとか。聞いてないのではなくて、調べにいけないだけなんで、その感覚をもうちょっと、自分で情報を取りに行くというのを周知する。広報とか、どんどん載せれると思うんで、ラインのQRコードとか。こういった必要な情報は町から流れているんだよということをもっとアピールしてもらえればいいのか。何でもしてもらえるという世の中ではないので、もっとどんどんアピールしていただいた方がいいと思います。

○教育長（戸越政幸）

貴重なご意見ありがとうございました。

○教育委員（隈部壽明）

2番の(6)のさっきキャリアパスポートの話があったんで、これは担当者会議が開催されましたという意味ですかね。

○学校教育課長（松林智之）

もう終わっています。開催しましたという意味です。

○教育委員（隈部壽明）

もし、今後あるんだったら、出てみたいなど。

○指導主事（松井 明）

現在は、腹栄中学校校区と長洲中学校校区が同じものを作成していますので、それを町キャリアパスポートに統一。そのときの会議は、年度末に1回やろうかと思っています。

○教育委員（隈部壽明）

その時は、呼んでください。

○教育長（戸越政幸）

他にございませんでしょうか。

○教育委員（隈部壽明）

夏休みの計画でしたっけ。あれは作ってあるんですか。

○学校教育課長（松林智之）

すみません、まだ配布できていません。後、1校まだです。

○教育委員（上野美登）

8月夏休みが始まりました。休校措置ですか、夏休みですか。中学校では、休校だから学校に一斉来ないよというお達しだったみたいで。部活はしないにしても、運動したり…。休校措置だと子ども達は受け取っているの、学校は閉まっていると言われてるんですよ。休校なのか、夏休みなのか。

○指導主事（松井 明）

今日だけ、臨時休業です。明日から夏休みになります。

○教育委員（上野美登）

生徒指導では、休校というのは学校に一斉来ないよと言われて帰ってきたみたいで。今一度、中学校は運動の自主練はOKとか、休校ではない旨を。

○教育長職務代理人（坂本裕文）

夏休みだったら、部活に来たりとかあるもんだから。きちっと自粛期間ということでの何日間というのは学校に来てもだめということをはっきりしたいということですか。

○教育委員（上野美登）

はい。運動しに行っているのか。

○教育長職務代理人（坂本裕文）

ある地区は休校措置にしてあるですね、夏休みだけでも。どっちにするかですよ、曖昧に。

○教育委員（上野美登）

細かい話ですけど、小学校は水かけ当番あり、中学校はなし。ということは中学校は休校なのか。中学生に何人か聞いたけども、来るなと言われたということは、休校。小学校は水かけ当番の表をもらってきた。部活は当面ありませんと。休校なのか夏休みなのかを。

○学校教育課長（松林智之）

当初は、夏休み期間中で部活は休止しますと。部活はできません。学力とか、色んな相談とか、三者面談も予定されていましてそういう相談には応じることは可能かなと思っています。来るのではなくて。言葉の使い方かなと。

○教育長（戸越政幸）

私の方は、臨時休校したのは今日だけです。一応、1日からは夏休みです。ただし、何のために今日を臨時休校にしたのかということをお知らせして、夏休みを迎えてくださいということで、共通理解をしていたつもりだったんですが、こっちは。三者面談は当然、三密を避けて実施できる。ただし、両校なしということでそういう捉え方をしたのかなと。

○教育委員（上野美登）

中学校は、完全に休校イメージで、小学校は補習もあるし、水かけもあるからどっちなのかなと思って質問しました。

○学校教育課長（松林智之）

確認しますが、来るなというニュアンスだと誤解がありますので。

○教育長（戸越政幸）

校長会でも付け加えたよね。コロナが心配だから、登校を控えますという子どもさんもいる。実際、検査を受けて来られていない子どももおると。そういう子ども達の学業保障は考えてますよねというようなことも問いかけています。それと相談活動、不安だからということも対応できるように、というようなことでしとったんですけども。来るなというようなそういうあれはしていない。

○学校教育課長（松林智之）

各家庭に教育長名で文書をお渡ししています。ここには、不安や心配なことがあったら、遠慮なく学校にご相談くださいと門戸は開いておりますので、言葉の使い方に語弊がありますので、学校の方に確認します。

○教育委員（上野美登）

はっきり言われているので、中学校はシャットダウン、小学校はそのまま補習もあるということだから、実際どこで線引きされたのか。子ども達はそのまま捉えてしまっているということなので。一応、夏休みですね。

○教育長（戸越政幸）

はい。他ございませんか。

ないようでしたら、この件については終わりたいと思います。

次に、日程番号第10、報告第7号について、非公開として取り扱います。

事務局から説明をお願いします。

（報告第7号 学校教育課長 説明）

○教育長（戸越 政幸）

はい、ありがとうございました。何かご質問、ご意見ございませんでしょうか。

－ 報告第7号の質疑については、個人情報の保護の観点から非公開 －

○教育長（戸越政幸）

他にありませんか。

なければ、これを持ちまして本日の全日程が終了しました。

第7回教育委員会会議を終了いたします。

大変お疲れ様でした。

閉会（午後4時40分）